

と き と り 桃 花 鳥

佐渡市立新穂小学校



ホームページ <http://niibo-es.sado.ed.jp>
E-mail niibo-es@sado.ed.jp

第386号
平成29年1月23日

夢を口に出し立ち向かう勇氣

校長 香遠 正浩

今年で25回目となる新穂地区公民館主催「立志元服式」が1月10日に行われ、出席させていただきました。今年の講演は、水球クラブチーム「ブルボンウォーターポロクラブ柏崎」のゼネラルマネージャーである青柳勸さんの「夢を叶える三つの法則」でした。その三つとは次のとおりです。

- ①夢を見付けること
- ②継続力を付けること
- ③協力者（仲間）を見付けること

①と②の内容は想像できると思います。③は次のように説明されました。

「夢は大きければ大きいほど、その実現には協力者（仲間）が必要です。たとえば50m走であれば誰に頼ることなくゴールできます。でも、マラソンだとしたらどうでしょう。完走という夢を実現するには給水所の役員や沿道の応援が必要です。

協力者を見付けるには『夢を口に出すこと』です。たとえ笑われても批判されても気にせず口に出すことで協力者は必ず現れます。」

その結果、青柳さんは史上最年少で日本代表に選ばれ、日本人として初めてイタリアのセリエAで活躍し、日本水球界の第一人者となりました。

しかし、夢を口に出すことは簡単ではないと思います。なぜなら青柳さんも述べているように「笑われたり批判されたりする」かもしれないからです。

アドラー心理学のベストセラー「嫌われる勇氣」（岸見一郎、古賀史健共著、ダイヤモンド社、現在同名のドラマが放送中）の中に、その答えのヒントが書かれています。要約して引用します。

「人は他者から否定されることを恐れる。誰かから小馬鹿にされ、拒絶され、心に深い傷を負うことを恐れている。人はいろいろと不満はあったとしても『このままのわたし』でいることの方が楽であり安心なのだ。生き方を変えようとする、大きな勇氣を試される。しかし、『人々はわたしの仲間なのだ』と実感できれば、世界の見え方は全く違ったものになる。他者にどう思われるかより先に、自分がどうあるかを貫きたい。」

新たな年を迎えました。大きな夢をもち、口に出し、課題に立ち向かってほしいと願います。「あなたの回りにいる人は皆あなたの仲間」なのでありますから。